

研究概要の公開原稿

局所進行膵癌に対するゲムシタビン併用重粒子線治療に関する有効性・安全性試験

1. 研究の対象

2016年10月～2021年9月に臨床試験「局所進行膵癌に対するゲムシタビン併用重粒子線治療に関する安全性・有効性試験」（先進医療B）に登録し、QST病院（旧放射線医学総合研究所病院）で重粒子線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

局所進行膵癌の患者さんを対象に、ゲムシタビン併用重粒子線治療の安全性と有効性を評価する臨床試験を実施中で、この試験の副次的評価項目として費用対効果を評価することを目的として、診療費用に関するデータの収集を行います。研究実施期間は2016年10月より7年間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：試験治療期間および後観察期間に係る診療費用に関するデータ、診療報酬明細書等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は郵送で行われ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

QST病院（旧放射線医学総合研究所病院）	山田 滋
群馬大学重粒子線医学研究センター	岡本雅彦
九州国際重粒子線がん治療センター	戸山真吾
神奈川県立がんセンター	加藤弘之

6. お問い合わせ先

照会先

住所：千葉市稲毛区穴川4-9-1

連絡先：043-206-3306

所属：量子科学技術研究開発機構 QST 病院

担当者名：山田 滋

研究代表者：同上

国立がん研究センターでの問い合わせ先

住所：東京都中央区築地 5-1-1

連絡先：03-3542-2511

所属：国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科

担当者名：奥坂 拓志